



## 2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年7月29日

上場会社名 丸藤シートパイル株式会社  
 コード番号 8046 URL <https://www.mrfj.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 七郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部担当執行役員 (氏名) 宮下 典久  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月5日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 03-3639-7649

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	7,806	10.9	150		258		182	
2022年3月期第1四半期	7,039	4.9	122		33		10	

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 177百万円 ( %) 2022年3月期第1四半期 43百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	50.89	
2022年3月期第1四半期	2.82	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	41,338	27,345	66.1
2022年3月期	43,304	27,454	63.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 27,345百万円 2022年3月期 27,454百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		80.00	80.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		0.00		80.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

第2四半期連結累計期間の業績予想は行っておりません。

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)									
通期	33,500	5.1	800	43.0	1,270	31.6	840	12.1	234.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 有  
会計上の見積りの変更 : 有  
修正再表示 : 無
- 詳細は、添付資料P.7「(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	4,000,000 株	2022年3月期	4,000,000 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	420,493 株	2022年3月期	420,460 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	3,579,518 株	2022年3月期1Q	3,579,598 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項については、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(会計方針の変更に関する注記) .....	7
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に関する注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の沈静化と経済活動の再開により持ち直しの兆しが見られた一方、為替相場の変動による急激な円安、長期化するロシア・ウクライナ情勢の影響が原材料価格の高騰や供給面での制約等に繋がり、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが属する建設業界におきましては、設備投資に持ち直しの動きが見られるものの、原材料及び鋼材価格の高騰による建設コストの増加を受け、受注環境は一段と厳しさを増しました。

このような環境の下、当社グループは採算性を重視した営業活動及び拡販活動に取り組み、原材料価格高騰を反映した価格改善や連結子会社との連携による工事受注の確保に注力してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は78億6百万円（前年同四半期比7億67百万円増）、営業利益は1億50百万円（前年同四半期は営業損失1億22百万円）、経常利益は2億58百万円（前年同四半期は経常損失33百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億82百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失10百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は413億38百万円となり、前連結会計年度末と比較して19億65百万円の減少となりました。その主な要因は、建設資材が減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は139億93百万円となり、前連結会計年度末と比較して18億56百万円の減少となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金と電子記録債務をあわせた仕入債務が減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は273億45百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億9百万円の減少となりました。その主な要因は、利益剰余金が減少したことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ2.8ポイント増加した66.1%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

建設業界を取り巻く環境は、都市部の再開発事業などの大型プロジェクトや大規模自然災害からの復旧・復興を図る対策として政府が進める防災・減災、国土強靱化計画、インフラ老朽化対策事業等の下支えもあり、一定の需要は確保されるものと見られます。しかしながら、原材料及び鋼材価格の高騰による建設コストの増加から、受注競争による採算面の厳しさが増すものと予想されます。

2022年5月13日に公表いたしました2023年3月期の連結業績予想につきましては変更しておりません。なお、今後の情報収集等により見直しが必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,415	3,606
受取手形、売掛金及び契約資産	9,513	9,196
電子記録債権	2,229	2,157
商品	227	256
建設資材	16,954	16,351
仕掛品	21	34
貯蔵品	45	47
その他	238	192
貸倒引当金	△14	△7
流動資産合計	33,633	31,835
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,258	4,258
その他(純額)	1,707	1,640
有形固定資産合計	5,965	5,898
無形固定資産		
	130	123
投資その他の資産		
その他(純額)	3,606	3,513
貸倒引当金	△32	△32
投資その他の資産合計	3,574	3,480
固定資産合計	9,670	9,502
資産合計	43,304	41,338
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,788	5,000
電子記録債務	3,337	2,837
短期借入金	2,840	2,840
未払法人税等	123	25
引当金	407	217
その他	3,030	2,753
流動負債合計	15,528	13,674
固定負債		
退職給付に係る負債	28	29
その他	293	289
固定負債合計	321	318
負債合計	15,849	13,993

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,626	3,626
資本剰余金	5,206	5,206
利益剰余金	19,154	19,049
自己株式	△1,008	△1,009
株主資本合計	26,977	26,872
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	386	385
退職給付に係る調整累計額	90	86
その他の包括利益累計額合計	476	472
純資産合計	27,454	27,345
負債純資産合計	43,304	41,338

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	7,039	7,806
売上原価	6,136	6,612
売上総利益	903	1,194
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	436	440
賞与引当金繰入額	110	118
退職給付費用	8	12
その他	469	472
販売費及び一般管理費合計	1,025	1,044
営業利益又は営業損失(△)	△122	150
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	3	0
受取地代家賃	73	94
売電収入	20	19
その他	15	13
営業外収益合計	114	128
営業外費用		
支払利息	6	4
不動産賃貸費用	9	7
売電費用	8	6
その他	1	1
営業外費用合計	25	20
経常利益又は経常損失(△)	△33	258
特別利益		
固定資産売却益	13	16
特別利益合計	13	16
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△19	275
法人税、住民税及び事業税	13	7
法人税等調整額	△23	85
法人税等合計	△9	93
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△10	182
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△10	182

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△10	182
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△29	△0
退職給付に係る調整額	△4	△4
その他の包括利益合計	△33	△4
四半期包括利益	△43	177
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△43	177



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

従来、当社及び連結子会社は減価償却方法に関し、有形固定資産の一部について定率法を採用しておりましたが、当第1四半期連結会計期間から定額法に変更しております。

この変更は、中期経営計画の立案・実行を契機に、有形固定資産の使用実態に即して見直し、検討した結果によるものであります。これにより、従来の方と比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が8百万円それぞれ増加しております。